

お元気ですか？

第8号

2022年4月発行



「春の煌」 撮影者：佐俣 雅和

CONTENTS

- 富 院長就任のごあいさつ、病院の理念と基本方針 2
- 富 新型コロナウイルスの検査について 3
- 富 紙上ナイトスクール☆シ 介護保険 4
- 富 健診センターよりお知らせ 5
- 富 シリーズ職場紹介（薬剤部） 6
- 富 令和4年度版外来担当医表 7
- 七 理学療法士のしごと 8
- 七 シリーズより良い糖尿病治療 糖尿病外来の取り組み 9
- 七 退院支援チーム 10
- 七 有事に備えた連携 11
- 富 七 地域医療連携だより 12

院長就任あいさつ



公立富岡総合病院
院長 宮崎 増美

新型コロナウイルス感染症の第6波がなかなか収束しない中、当院を利用される皆様には、2年間に渡り感染拡大防止のため面会禁止にご理解を頂き、誠に有難うございます。この期間、ご家族と会えず、心細い入院生活を送った患者さんもありましたし、重症のコロナの患者さんに至っては、最後のお別れも十分に出来ないご家族もいらつしました。医療者としても大変辛い場面を目の当たりにしてきました。一方で、院内感染は発生せず、診療停止もなく、地域医療を継続出来ているのも、皆様のご協力の賜物と深く感謝しております。

また、本年から団塊の世代の方々が75歳を迎え始めます。75歳は健康寿命の節目であり、医療・介護の必要性が増えるのですが、加えてコロナによる体力低下、受診控えによる持病の悪化も見受けられ、その増加に拍車がかかる可能性もあると懸念しております。

このような状況の中、令和4年4月1日付けで公立富岡総合病院院長を拝命い

たしました。

当院の目的は、西毛地区唯一の総合病院として「地域医療を守ること」であり、これからも取り組むことは沢山あると身の引き締まる思いであります。それは、救急・急性期医療を保つこと、周産期・小児医療も保つこと、がん診療体制を充実させること、災害医療に備えることであると考えます。

また、富岡甘葉医療圏では、一足早く少子高齢化の波が到来しています。高齢者医療・ケアのため一層の地域連携を充実させることも重要です。加えて、今後の新興感染症等の感染拡大時に備え、平時からの関連機関との連携も新たな課題です。

医療・介護にとつては、大きな転換期に入ります。生まれてから看取りまで、質の高い医療・ケアの提供を通して、これからの時代の流れにおける変化に即した地域完結型医療を目指し、力を尽くして参りたいと思っております。

どうぞよろしくお願い致します。

新型コロナウイルスの検査について

ICT（臨床検査技師 清水美里）

日本ではこれまでに4,994,387人が新型コロナウイルス感染症と診断されており、これは人口の約4%に相当します（2022年3月1日時点）。新型コロナウイルス感染症を診断するための検査には、核酸増幅検査（PCR法など）、抗原検査（PCR法など）、抗原検査などがあり、いずれも被験者の体内にウイルスが存在し、ウイルスに感染しているかを調べる検査です。核酸増幅検査はウイルスの遺伝子を検出し、抗原検査は免疫反応を引き起こすウイルス抗原のタンパク質を検出するため、これらの検査は現在感染しているかを確認するための検査です。一方、抗体検査は免疫反応によって体内で生成された抗体を

検出するので、過去に感染したことがあるかを確認するための検査です。患者さんの現在の症状に合った適切な検査を選択することが診断上非常に重要となりますので、当院ではこれらの検査を対象によつて使い分けています。また、核酸増幅検査や抗原検査に使用する鼻咽頭ぬぐい液の検体採取は、主に看護師と臨床検査技師がドライブスルー形式で行っております。

体がだるい、熱がある、喉に違和感があるなど少しでも体調が悪ければ外出を控えるとともに、積極的に受診し、検査を受けるようにしましょう。まずは身近な医療機関に電話で相談し、もし相談先に迷う場合は、

受診・相談センターに問い合わせし、医師の指示に従って検査を受けましょう。

現在流行中のオミクロン株については感染拡大の速度が非常に速く、全国的に新規感染者が増加していることが知られています。しかし、オミクロン株などの変異株に対しても「マスクの着用」や「手洗い」、「3密（密接・密集・密閉）の回避」、「換気」などといった基本的な感染対策は有効です。ワクチンを接種したからといって基本的な感染対策を怠ってはいけません。一人一人の行動が感染拡大防止に繋がりますので、ワクチン接種後も引き続き感染対策にご協力をお願いします。



病院の理念と基本方針

理念

患者中心の医療

運営の基本方針

1. 一人一人の人權と尊厳を尊重し、質の高い医療提供に努めます。
2. 地域医療の中核として、関係機関との連携を図り、地元のニーズに応えます。
3. 富岡地域医療企業団として、高い公共性と倫理性に基づいた事業運営に努めます。
4. 全職員が、生きがい、やりがいを感じられる職場作りに努めます。
5. 企業団として地域医療構想に対応します。

2019.04改

患者の権利

1. 診断、治療、予後について、十分な説明のもとで納得のいく医療を受けられます。
2. 納得のいく医療を受けるために、主治医以外の医師や医療スタッフの意見（院内、院外セカンドオピニオン）を聞くための情報提供を受けられます。
3. 検査や治療を始める前に、同意に必要な情報提供を受けられます。
4. 十分な説明後、希望しない検査や治療は断ることができます。
5. 診療に関する記録は、開示を求めることができます。

2019.04改

健診センターからのお知らせ

No1.日帰りドックプラスのご紹介

2022年4月から、これまで数多くの方にご利用いただいた日帰りドックを大きくバージョンアップさせた、「日帰りドックプラス」という新コースをはじめます。より充実した新しい日帰りドックを簡単にご紹介します。

「日帰りドックプラス」の流れ

- 8:00 受付・着替え・採尿
- 8:30 【午前の健診】
胸部X線撮影、血圧測定、採血、視力・眼圧検査、心電図、身長体重測定、眼底撮影、聴力検査、
婦人科診察（女性のみオプション）、腹部エコー検査、甲状腺エコー検査、胃カメラ検査
※採血検査には、腫瘍マーカー（消化器系がん、肺がん、前立腺がん（男性のみ）、
卵巣がん（女性のみ））も含まれております。
- 12:00 【昼食】
お弁当をご用意いたします。
- 13:00 【午後の健診】
内科診察、肺CT検査、骨密度検査、マンモグラフィ検査（女性のみオプション）
- 15:00 すべての検査が済み次第ご帰宅となります。

「日帰りドックプラス」の料金

- 通常の日帰りドック 40,700円（税込み）
- 日帰りドックプラス 60,500円（税込み）
昼食、胃カメラ、甲状腺エコー検査、肺CT検査、骨密度検査、
腫瘍マーカー（5種類）が、コースに含まれていますので、かなりおトクです！



No 2. 改修工事のお知らせ

2023年1月1日～3月31日の期間において、健診センターの改修工事を
実施することとなり、この間、健診センターは**完全休診**となります。

そのため、2022年4月～12月は大変混雑が予想されますので、日程変更等も応
じられない可能性があります。

例年よりもお早めの受診をお勧めいたします。

ご迷惑おかけいたしますが、ご理解ご協力のほどお願いいたします。



お問い合わせは 公立富岡総合病院 健診センターまで



介護保険について

新型コロナウイルス感染拡大の影響によりナイトスクールの
休止していますが、予定していた講義内容の一部をお届けします。

紙上ナイトスクール

- サービスが利用できる方
- ① 65歳以上の方（第1号被保険者）で、
要介護状態、要支援状態の方
- ② 40歳以上65歳未満の医療保険に加入
している方（第2号被保険者）で、特
定疾患（制度上指定された疾患）が原
因で介護状態や要支援状態になった方
- 利用できるサービスの例
- （利用出来るサービスは要介護、要支
援認定によっても異なります。）
- 訪問系サービス：ヘルパーが身の回
りの生活支援を行う訪問介護、看護師
- が訪問して療養上の世話や診療の補助
を行う訪問看護、自宅に訪問してリハ
ビリを受ける訪問リハビリテーション
など
- 通所系サービス：日中事業所に通っ
て食事や入浴などの介護を受けるデイ
サービス、リハビリを受けるデイケア
など
- 宿泊系サービス：短期間宿泊し、介
護ケアを受けることができるショート
ステイ
- その他：車いすや介護用ベッド、手
すりなど日常生活の自立を助けるため
の福祉用具レンタル、レンタルにむか
ないポータブルトイレなどの購入費を

補助する特定福祉用具販売、環境を整
えるため小規模な住宅改修費の補助な
どがあります。

下記は介護保険を利用しながら自宅
で過ごしているAさんの例です。サー
ビスを上手に組み合わせることで、自
宅で過ごしたいという誰もがもつ思
いを実現することができるかもしれま
せん。家に帰れない？ それはなぜで
しょうか。誰にとつて何が課題となっ
ているでしょうか。サービスを利用す
ることでの課題を解決する方法があ
るかもしれません。もし生活面で困
りごとのある方は、利用を検討して
みてください。

サービスを利用するには、
介護保険の要介護・要支援認定を
受ける必要があります。
窓口は住民票のある市町村役場です。
まずは窓口にてご相談ください。



【要介護3 Aさんの1週間】

月	火	水	木	金	土	日	その他
デイサービス	配食サービス	デイサービス	配食サービス	デイサービス	配食サービス	家族が訪問	ベッド 車椅子 レンタル
	ヘルパー		ヘルパー		ヘルパー		

*配食サービスは介護保険の制度ではありません。

診療科		時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
内科		午前	(内分泌・DM)登内 (呼吸器)石塚 (初診)*茂木(永井) (再診)飯塚	(内分泌・DM)永井 (呼吸器)原田 (初診)*茂木(登内)	(内分泌・DM)永井 (呼吸器)石塚 (初診)原田 (腎臓)*高橋哲 (腎臓/2・4週)*竹内	(内分泌・DM)登内 (内分泌・DM/隔週)*高橋健 (呼吸器)原田 (初診)笛木	(内分泌・DM)永井 (呼吸器)笛木 (初診/隔週)石塚/*神戸
		午後			(血液)*群大 (再診/第3週)飯塚 (禁煙/15:00～16:00)飯塚 (腎臓)*高橋哲 (腎臓/2・4週)*竹内		
神経内科		-					*中村(再診)
消化器科		午前	斎藤(豊) (初診)岩本	岩本 (初診)斎藤(豊)	岩本 (初診)斎藤(豊)/若城(隔週交代)	(肝臓)齋藤(秀) (初診)若城	(初診)齋藤(秀) 若城
		午後		(肝臓)齋藤(秀) (肝臓/2・4・5週)*高崎総合			
循環器科		午前	(初診)石窪 杉戸	(初診)金子	金井 / 金子	(初診)杉戸 *金古	石窪 (初診)金井
		午後		*瀬田 *(第2週)高間			
心療内科		午前	横川	横川 / *井上	横川	横川	横川
		午後		(予約)*井上	(施設往診)	(予約)横川	
小児科		午前	小須田 / 井上	小須田 / 小坂橋	井上 / 小坂橋	小須田 / 井上	小須田 / 小坂橋
		午後	(乳健2ヶ月～)各担当医 (予防接種)井上 / 各担当医	(心臓)小須田	(喘息)井上	(消化器/2・4週)*五十嵐	(1ヶ月乳児健診)小須田/小坂橋
外科		午前	佐藤 (乳腺)五十嵐	(初診)池田 (一般・血管/1・3週)*尾形	井上 (乳腺)五十嵐 (筋膜リリース)門脇	門脇	佐藤 / 池田
		午後					(HPN・ストマ・緩和ケア)佐藤
整形外科		午前	(脊椎)松原 / 原 萩原	(リウマチ)*小林 (膝)小野 (股)鈴木 九嶋	(膝)小野 萩原 / 川上	(1・3週)*小林 (足/2・4・5週)*日尾 (脊椎)松原 (股)鈴木 川上	(脊椎)原 (1・3週)萩原 (2・4週)鈴木 九嶋
産婦人科		午前	五十嵐 / 鹿沼 / 井上	五十嵐 / 岩宗	鹿沼	五十嵐 / 鹿沼 / 岩宗	五十嵐 / 鹿沼 / 岩宗
		午後	(産後フォローアップ外来)	(手術) (産後フォローアップ外来) 岩宗	(手術)	(産後フォローアップ外来) 岩宗	(産後1ヶ月健診)
泌尿器科		午前	(予約)田中 (予約〈初診〉)塩野	(予約)町田 (予約〈初診〉)田中	(予約)大澤 (予約〈初診〉)小南	(予約)大山 (予約〈初診〉)大澤	(予約)塩野 (予約〈初診〉)大山
		午後	(予約)田中 (予約・カテ交換)町田		(予約・CAPD/15:30～)大山		(予約・排尿機能)塩野
皮膚科		午前	渡辺	(1・3・5週)*群大(予約制) (2・4週)渡辺	渡辺	渡辺	渡辺
		午後		(15:00～)渡辺	手術	(15:00～)渡辺	(褥瘡回診)
脳神経外科		午前	寺崎	三隅	*中田	三隅	寺崎
眼科		午前	小林 / 坂田	小林 / 坂田	小林 / 坂田	小林 / 坂田	小林 / 坂田
		午後	(手術)	(予約検査・治療)	(予約検査・治療)	(手術)	(予約検査・治療)
耳鼻科		午前	松井 / 清水 (10:30～1人病棟回診)	松井 / 清水 (10:30～1人病棟回診)	松井 / 清水 (10:30～1人病棟回診)	松井 / 清水 (10:30～1人病棟回診)	松井 / 清水 (10:30～1人病棟回診)
		午後	(手術)	(特殊外来)	(予約検査・外来手術)	(手術)	(特殊外来)
歯科・ 口腔外科		午前	佐々木 / 金井	佐々木 / 金井	(手術) *齋藤	佐々木 / 金井	佐々木 / 金井
		午後	(外来手術・口腔ケア)	(外来手術・口腔ケア)	(手術)	(外来手術・口腔ケア)	(外来手術・口腔ケア)
放射線科	画像 診断	午前	岡内 / 倉林 / 松田	岡内 / 松田	岡内 / 倉林 / 松田	岡内 / 倉林 / 松田	岡内 / 倉林 / 松田 / *前原
		午後	岡内 / 倉林	岡内 / 倉林 / 松田	岡内 / 松田 (IVR)*宮崎	倉林 / 松田 / *橋詰 (RI)*樋口	岡内 / 倉林 / 松田
	治療	午前	齊藤	齊藤	齊藤	齊藤	*塩井
		午後	齊藤 / *関口	齊藤	齊藤 / *弓崎	齊藤	*小林
麻酔科		-			(13:00～15:00) 宮崎 or 澤野 or 村田 or 演野		
病理診断科		午前	平戸	平戸	*佐々木	平戸	平戸
		午後	平戸	平戸		平戸	平戸

※午後の外来は火曜日、木曜日の皮膚科以外は原則予約制です。

*＝非常勤医師

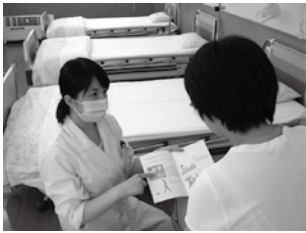


シリーズ職場紹介
薬剤部

調剤室業務
処方された薬を調剤する他、厳密なプロトコルのもとで市販されていない薬の内製剤も行っています。調剤はピッキング支援システムを用いて、薬剤の取り間違い対策を行っています。
また窓口では、手術に影響がある薬やサプリメント類の使用について確認を行います。手術前に的確に薬剤の把握・中止・変更を行う



病棟薬剤師の業務
病棟に赴き、ベッドサイドで薬の説明や持ち込み薬の確認、医師への処方提案など薬物治療の支援を行っています。群馬県内の公立病院の中では一早くこの取り組みを始め、薬剤師が病棟に常駐して25年経ちます。
入院の際は、気軽にお声かけください。薬に対する不安や疑問を解決しましょう。



無菌製剤業務
無菌製剤室では抗がん剤を薬剤師が無菌的に調製しています。がん化学療法を安全に受けていただくため、抗がん剤の投与計画の作成への参画やプロトコルの確認、投与量・投与間隔など厳密なチェックを行って調製します。
また、抗がん剤の予測される副作用と予防方法について薬剤師が看護師と連携して指導を行っています。

医薬品情報管理業務
毎年、新しい医薬品が続々と発売されています。医薬品を適正に使用するため、情報を収集・評価・管理し、その情報を医師など医療従事者や患者さんに提供しています。また、医薬品の副作用についての情報収集と厚生労働省への報告も行います。



薬剤師からのお願い
◎お薬手帳をもちましょう！
お薬手帳はご自身の健康を守る重要なお薬の記録です。
◎お薬手帳をみせましょう！
医療機関や薬局に行く時、医師、歯科医師、薬剤師にみせることにより飲みあわせやアレルギー・副作用を確認してくれます。
◎一冊にまとめましょう！
お薬手帳を一冊にすることで複数の病院・診療科の薬の情報がまとまり、同じ種類の薬がないか（重複）、薬の飲みあわせ（相互作用）が確認できるようになります。

お薬について何か疑問に感じていることやお知りになりたいことがありますしたら、いつでもお気軽に薬剤師におたずねください。



：**新型コロナウイルス感染症治療で力を発揮**：
抗菌薬適正使用支援チームASTは、細菌検査のデータや感染部位の情報から最適な抗菌薬を選び出し、薬剤師から処方提案します。新型コロナウイルスの治療では、最新の治療方法の情報収集や適切な薬剤の確保など大きな役割を果たしています。



リハビリテーション技術科の紹介

理学療法士のしごと

回復期リハビリテーション係 係長 高橋 茂

仕事紹介 Job introduction

皆さんは、リハビリテーションと聞くとどんなことをイメージするでしょうか。スポーツ選手などが怪我をして競技に復帰する際に「過酷なリハビリを乗り越えて・・・」などと報じられることもあり、「きつい」、「大変」、「痛い」と思われるかもしれません。確かに競技復帰を目指す一流アスリートのリハビリは過酷な面もあると思います。が、私たちは患者さんのそれぞれある希望や目的をふまえて社会復帰のお手伝いをさせていただいています。

リハビリは多職種が連携して患者さんの機能回復を目指して介入していきます。その中の一つに我々理学療法士が担う理学療法があります。理学療法では主に身体機能の改善を図り、運動療法や

物理療法などの手段を用いて起き上がる・立ち上がる・歩くなどの基本的な動作の練習を行なっています。

当院で従事している業務は、一般病棟や地域包括ケア病棟、回復期リハ病棟での勤務、在宅医療支援センターでの訪問業務があります。回復期リハ病棟では、医師をはじめとする様々な職種がチームとして患者さんの機能回復を目指して、住み慣れた地域で再び生活できるようにお手伝いしています。そのため、家屋状況によつて改修案などを提案させていただくこともあります。臨床業務が主なものになりますが、環境調整も含めてチーム一丸となつて患者さんに寄り添い、地域の皆さんに貢献できるように励んでいます。



シリーズ より良い 糖尿病治療

糖尿病外来の取り組み

災害時に備えて

看護部 看護師 赤尾 秀子

桜の素敵な季節になりましたが、皆さんお元気ですか。私たち七日市病院外来スタッフはコロナに負けず笑顔で頑張っています。

このコロナ禍で一般内科など落ち着いている患者さんは電話受診が可能です。糖尿病外来に通院している患者さんは検査が必要な方が多いため受診が必須となります。

当院では受診後、採血、体重測定、栄養指導、自己注射指導など行つていて、担当看護師が本日までの生活状況を伺います。

当外来に、群馬県糖尿病療養指導士が2名在籍しており、より専門的なサポートが出来る様に心がけています。

最近では自然災害も多く、いざと言う時に備え内服薬や注射名など覚えて頂きた

と思います。診察までの待ち時間で確認しています。患者さんからは「抜き打ちテストかい」と言われる事もありますが、災害時に備えてお聞きしていることを伝えご理解いただいています。

薬の名前を覚える事は至難の業です。患者さんはお薬手帳を携帯することや、携帯電話で薬の写真を撮るなど工夫していただき、いざと言う時に困らない様にアドバイスしています。

また、改善出来る事は積極的に患者さんと相談し、医師や薬剤師、管理栄養士と連携しサポートして行ければと思つています。

コロナ禍で人との接触を避けたいため通院を控えてしまいがちですが、糖尿病の治療は継続する事が何より大切です。血糖コ

ントロールが悪化してしまうと合併症の発症や、進行する恐れがあるため適切な受診間隔、受診方法を主治医と相談し、食事療法、運動療法、薬物療法を中断しない様にしましょう。





チー〇活動

退院支援チーム

当院では、患者さんやご家族が退院後も住み慣れた地域で安心して生活できるよう、自宅での医療処置や介助方法の指導、退院後の生活に必要な医療・介護サービスの調整機能の充実を目的に、退院支援に関する院内チーム（退院支援チーム）を設置しています。

退院支援に携わる医療ソーシャルワーカーと各病棟、外来、訪問看護ステーションの看護師（リンクナース）がチームを編成し活動しています。

活動内容としては、退院後に家庭での医療処置が必要になる方への指導用パンフレットの作成や退院支援に関する研修会の開催、病状や生活背景で退院準備に課題がある方に関して支援の方法を検討するなどし、退院支援の充実を図るために活動しています。

また、退院支援にあたっては地域との連携が重要となります。退院後に利用される医療・介護施設、ケアマネジャーの方へ患者さんのご様子が正確に伝わるよう、申し送り書類の定期的な見直しや、情報発信・広報に関する活動として当企業団ニュース「お元気ですか？」の内容もチーム内で検討しております。

退院支援チームが活動することで、各病棟や外来、訪問看護の間で退院支援に関する情報交換、意識共有が図れています。

病気や怪我で入退院されることは、人生において大変大きな出来事であると思います。退院された後も地域で安心して生活いただくための支援が少しでも充実するよう、活動を続けて参ります。



有事に備えた連携

―災害の勉強会を通じて地域とつながる―

この時期は、東日本大震災の記録を報道で目にする機会も多く、その度に災害について考えさせられます。当時、私は群馬県の医療救護班として宮城県の南三陸町に派遣され、未曾有の状況を目の当たりにしたので、蘇る記憶に映像を重ねては災害の怖さを実感しています。

記憶に新しいところでは令和元年の台風19号でしょうか。ここ富岡市においても死者3名、建物被害44棟、浸水被害27棟の被害が出て一時的な滞在を含め16,417人が避難しました。この日、私は病院に詰めて患者さんや建物に影響がないか警戒していました。医療相談員という仕事柄、在宅の患者さんが気掛かりで訪問看護師に連絡を取ることもあり

ました。その中に医療機器を装着した患者さんがいて、福祉避難所を紹介したものの大雨で搬送手段を見つけれず、不安を抱えたまま家でごされました。

高齢者や障害者ら「避難行動要支援者」ごとに抱える問題は違って、避難に配慮と工夫が必要です。東日本大震災後、災害対策基本法が改正されるなど体制の整備が進められていますが、皆が資源をスムーズに利用できるとは限りません。差し迫った状況で支援が滞ってしまう時こそ、情報を集め知恵を出し合い状況を打破できる協力関係を持つておくことが真の地域力だと思っています。

新型コロナウイルス感染症の影響で1年出遅れてしまいましたが、去

公立富岡総合病院患者支援サービス課患者支援係 係長 佐俣雅和
医療ソーシャルワーカー 社会福祉士 介護支援専門員
日本DMAT（災害派遣医療チーム員）
ぐんまDMAT（群馬県災害派遣福祉チーム員）

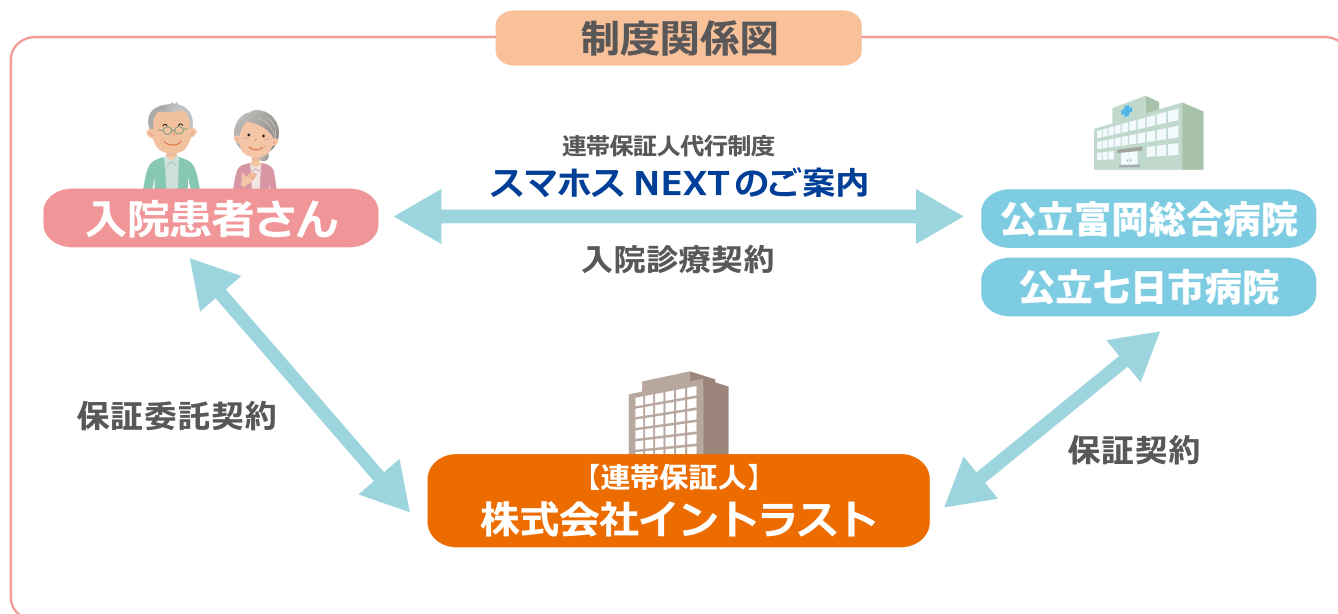
年開催した群馬県介護支援専門員協会富岡・甘楽支部のオンラインシンポジウムでは、災害ボランティアセンターの職員やケアマネジャーとこの時の対応について討議しました。災害時の避難支援等を実効性のあるものにするため個別避難計画が有効とされていますが、作成率が今ひとつ上がっていないことが分かったので、その後、ケアマネジャーの有志や市の危機管理部門の職員と共に情報共有の場をスタートさせました。

今後、いつ起こるかわからない災害に地域で立ち向かえるよう、所属機関や職種の垣根を超えた連携で討議と検証を重ねて支えとなる根を増やして参ります。

入院時連帯保証人代行制度を導入しました

当企業団は、2022年2月1日より、患者サービスとして入院時の連帯保証人代行制度を導入しました。
(株)イントラストが連帯保証人となりますので、個人で連帯保証人を用意していただく必要はありません。

制度関係図



保証内容について

保証期間

入院日(保証開始日)より
退院日(保証終了日)まで

保証範囲

- ①入院費用自己負担分
- ②入院費用実費負担分(個室料、食費など)
- ③レンタル費用(病衣など)

ご注意 事項

- 遅延なくお支払いいただければ、患者情報が株式会社イントラストへ提供されることはありません。
- 万一、入院患者さんが当院に対してお支払いを延滞した場合、患者さんに代わり株式会社イントラストが保証限度額を上限に入院費用を立替払います。ただし、立替払いした入院費用については株式会社イントラストが入院患者さんへご請求いたします。

発行

富岡地域医療企業団 公立富岡総合病院

〒370-2393 群馬県富岡市富岡2073-1

TEL.0274-63-2111

FAX.0274-64-1406

<http://www.tomioka-hosp.jp>

tomihp@mail.gunma.med.or.jp



富岡地域医療企業団 公立七日市病院

〒370-2343 群馬県富岡市七日市643

TEL.0274-62-5100

FAX.0274-62-5211

<http://www.nano-hosp.jp/>

nanobyin@nano-hosp.jp

